

レム睡眠行動障害 (REM sleep behavior disorder:RBD)



レム睡眠行動障害(RBD)とは…

本来筋緊張が抑制されているレム睡眠時に筋緊張の抑制が欠如し、夢の内容に合わせた大声や体動を認める疾患。60歳以上に多く見られ、半数以上は特発性であると報告されています。レビー小体型認知症(DLB)やパーキンソン病(PD)などの神経変性疾患の初期症状として出現することもあります。

RBDの症状…

○夢見内容に合わせた睡眠中の異常行動

- ・叫ぶ、大声をあげる ・暴力動作、パートナーへの暴力、室内物の破壊 等
- ・笑っているなどの暴力的でない行動も認められます。

RBDと夜間せん妄の比較…

	RBD	夜間せん妄
異常行動	夢の内容と一致することが多く、回想できる	周囲・自己の状況を認識できないことが多い
持続時間	数分	数十分～数時間
症状発現時期	入眠後90分以降のレム睡眠中	特定ではなく様々
刺激による覚醒	声掛けなどで容易に覚醒	指示が入らず困難

RBDの治療…

【非薬物療法】

- ・まずは睡眠時の異常行動の内容を確認し、怪我のリスクを最小限に減らすための環境整備とパートナーが怪我をしないようにする対策を行うことが重要です。
- ・ストレスや過度な飲酒、抗精神薬などが症状増悪に寄与する可能性もあるため、生活改善や服用薬の見直し等も必要になります。

【薬物療法】

- ・怪我のリスクが高い場合や睡眠障害をきたす場合には、薬物治療として、クロナゼパム(ランドセン®、リボトリール®)の有効性が高いとされています。しかし、クロナゼパムにも睡眠時無呼吸症候群や転倒のリスク等もあるため慎重な投与検討が必要になります。